

さやまの伝説

河童の話



市内水富の笹井のタケが淵には、笹井のタケ坊と呼ばれる近在では名の知れた河童がおったそうです。河童は川、沼、池、淵など水辺に棲む妖怪で、地方によっては、メドチ（青森県）、ガオロ（岐阜県）、ガータロ（香川県）、エンコ（岡山県）、ガロ（九州地方）など、いろいろな名前と呼ばれ、水の神の信

仰にも登場します。

昔のお話です。笹井



のタケ坊河童と所沢の柳瀬川のまんだら河童、川島町の井草に棲むサケ坊という河童は、たいそう仲がよくて、何かことがあると、お互いに行き来して相談し合っていたそうです。また、毎年の盆暮れの贈り物も欠かさなかったそうです。ところが不思議にも、土地の人たちは、昼間も夜も河童の姿を見掛けたことは一度もなかったといひます。それは、人間川と越辺川、柳瀬川は、地下で水脈が通じ合っていましたので、陸を歩かずに済んだからだそうです。やはり河童は水がなくてはだめなのです。それも清流を好みます。不老川も人間川と地下水脈が通じているという話もあります。タケ坊河童は不老川にも行っていたのかもしれない。

市民の作品展

童句

童句は、自分が童心に帰って詠む俳句です。狭山市童句研究会の選による作品を掲載しています。

カタコトと 回る水車に 花菖蒲 大谷木 浩子
 プール開き 自己新記録 胸の中 渡川 誠
 かたつむり 今日のお宿は 花舗の隅 津田 都
 大人びて 片手にマンガ サンガラス 大沢 久美
 今日が明日か カルガモ親子 旅立つ日 高田 貞子
 バス涼し それぞれの顔 海に向く 創始者 土家 由岐雄

編集後記



梅雨の季節は、じめじめした日が続き、どこなく気分も沈みがちです。でも、梅雨が明ければ、子ども達がお待ちかねの夏休みです。市では、夏休み前に、子ども向けのホームページ「さやまっ子くらぶ」をオープンします。ぜひ、親子でご覧ください。また、狭山の夏といえば「人間川七夕まつり」。今年は、8月5・6日の開催です。その歴史も、さやまっ子くらぶで紹介しています。市外や県外からも大勢の人が訪れ、活気に満ちあふれる2日間。少し予習をしてお出かけしてみたいかでしょうか。

分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。締切り7月31日(月・当日消印有効)

6月号の答え

9ページ・ひとまち写真館の「卓球台の脚」の写真でした。



👁️で見る「さやま」

■人口と世帯(市民課) 7月1日現在。()内は前月比			
住民基本台帳人口		外国人登録人口	
男	80,029人 (-17人)	908人 (+5人)	
女	77,655人 (+2人)	1,148人 (+14人)	
合計	157,684人 (-15人)	2,056人 (+19人)	
世帯	62,459世帯 (+47世帯)	1,496世帯 (+12世帯)	

- 6月の火災・救急件数(消防本部)
- 火災件数 4件(建物1件、車両2件、その他1件)
- 救急出動件数 460件(搬送人員439人)



公式モバイルサイトのQRコード
 QRコードに対応した携帯電話で読み取ると公式モバイルサイトに簡単にアクセスできます